

6月20日 学級目標紹介集会

各クラスで、目指す姿を話し合い、じっくり考えて決めた学級目標。それぞれのクラスの良さが見える発表でした。学級目標に向かって、良いクラスが出来上がっていくのが楽しみです。

5・6・7・8・9組
「3150(サイコー)」
最高のクラスにしたいな

1年1組
「ぜんぶきらきら 100てんはなまる 1ねん1くみ」
キラキラ1年生になろうね。

1年2組
「みんなでやってみよう」
なんでもできるいちねんせい



2年1組
「やしのき」
やしの木の実が増えるかな。

2年2組 「じぶんたちでかいけつする」「チャレンジする」
「きょう力する」みんなで頑張ります。

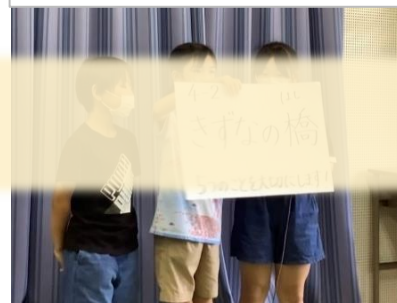
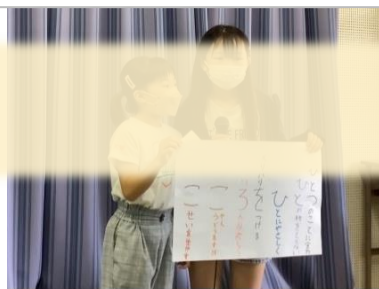
3年1組 やさしさ
しずかに
「Shiny のんびり Class」
きれいに



3年2組
「Happy Sunflower」
全員のパワーでひまりとひま太を成長させるぞ!

4年1組
「こころをひとつ」
ひとつひとつの目標を達成できる4年1組になりたい!

4年2組
「きずなの橋」
5つのことを大切に、絆を深めて5年生へ・・・



5年1組

「虹色の大樹～可能性は無限大～」7色の目標をもとに、どこまでも高みを目指します！



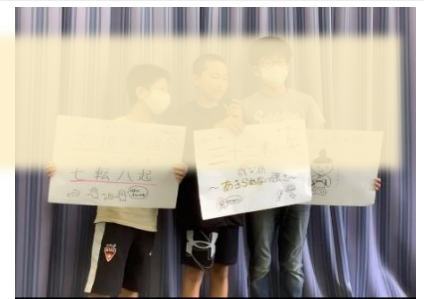
5年2組

「フォーティーワンアメージングヒーロー」1年後、6つの目標を達成したぼくたちはヒーローになっています。



6年1組

「三十二本の矢～あきらめない強さ～」一人ひとりが結束して、どんなことにもくじけず最後まで取り組みたい。



6年2組

「ランドセル」
様々な経験を重ね思い出を
いっぱいつめて卒業したい！



よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

よこはま子ども国際平和スピーチコンテストの金沢区審査会に、文庫小学校代表として、6年生の・・・さんが参加しました。校内発表会では、4～6年生に向けて堂々と自分の考えを伝えていました。発表を聞いた子どもたちからは、
「身の回りのことを例に挙げていて分かりやすかったです。」
「人間の生活と自然の関係がよく分かりました。」
「強弱があって、思いや伝えたいことがよく伝わりました。」
などの感想が聞かれました。とても立派な発表でした。



自然を守り抜くためにできること

私は、陸の自然環境を守ることが、国際平和につながると 생각합니다。そうすることで、人間が生き続けられる世界にできるからです。これは、SDGsの目標にも定められています。しかし、それにも関わらず自然を壊している事例があって、他のことにも影響を与えています。それは、自然を破壊して陸の動物のすみかを奪うことです。

私は、称名寺というお寺の森によく鳥の観察に行きます。野鳥の生き生きとした姿を見ると、「生きていて、とてもすごい。」と実感できるからです。この称名寺周辺には、イソヒヨドリという野鳥が住んでいます。この野鳥は、以前は海の近くの磯で暮らしていました。しかし、突然市街地にすみかを移動したのです。その主な原因は人間の手によって磯を壊されていたからでした。どんな生き物でも環境の変化に慣れるには時間がかかります。そのため、イソヒヨドリは市街地では生息できないかもしれません。なぜかという、市街地では磯には少なかったカラスに襲われることがあるからです。陸の環境を人間が壊していなければこうならなかったはずです。このように、環境が一変すると一つの生き物の数が減る危険があります。そうならないためにも、陸の自然環境を守り、生き物も守ることへつなげる必要があります。

自然の環境を壊して、人間だけが住みやすい環境を作ろうとすると、後に生態系が崩れ、食べ物が減ったり地球温暖化が進んだりするかもしれません。だから、人間も生き物も自然に悪影響のない環境を作るべきだと思います。そのために、私は、山や川へ野鳥観察に行くとき、ごみは持ち帰ったり拾ったりします。また、少しでも多くの植物を植え、地球温暖化を防いだり、生き物の住みやすい環境を作ったりしていきます。これらのことを今を生きる私たちが行えば、自然を守りたいという強い思いが多くの人に伝わり、磯だけでなく称名寺の自然環境を守ることができると信じています。

